

# 東北復興 PSW にゆうす

9月に第1回目の復興支援委員会が開催されました。本誌「PSW にゆうす」の継続的な発行や復興支援ツアーの実施、新たな取り組みなどについて話し合いがなされ、初回から時間が足りなくなるほど活発な意見が飛び交っておりました。復興支援ツアーにつきましては、先陣の福島ツアーが11月22～23日に執り行われます。宮城では来年3月21～22日、岩手では来年4月25～26日(当初予定の10月より変更)に開催できるよう、現在準備を進めています。皆様との「縁」を大切にする委員会活動を目指してまいります。今後ともよろしく願いいたします。(復興支援委員会委員:長谷)

## 新たな一歩へ “つなぐ” “つながる”



新マスコットの  
「えんが〜る」  
です。よろしくね!

東日本大震災復興支援本部の皆様の多大なる尽力を引継ぎ、今年度より委員会活動としてまた新たな第一歩をスタートすることとなりました。構成員の皆様には、今後も引き続き暖かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

委員会では、今までの皆様との縁、そしてこれから出会う縁を一つ一つ大切に繋いで行きたいと思っています。多くの大切なものを失った被災地やそこに生きる方々の復興を支援するには、“つなぐ” “つながる” ことが大きな力となります。そのためにも、この東北復興PSWにゆうすの発行を中心として、委員会から皆さんに情報発信してゆくことは大切な活動の1つと考えています。また、復興支援ツアーを11月に福島県、来年3月に宮城県、4月には延期となっていた岩手で開催予定としています。是非この機に東北へお越しいただき、被災地の今を体感いただきながら人々との豊かな交流を図っていただけたらと思っております。

さて、震災から3年8カ月が経とうとしています。被災地ではようやく仮設住宅から災害復興住宅への転居や、高台に新築して移転するなどの動きが出てきています。復興が進んだことではあるのですが、しかしそこには、支えてくれた人や親しんだ故郷との別れ、新しい生活や近隣者との付き合いに対する不安、家族とは何か、これからどう生きて行くのかとの問題に待たなしに直面する方々の姿を見ることがあります。そして何よりも、自分の覚悟がつかないまま、限られた選択肢の中で生きていかなければならない状況であるならば本当に辛いものです。思えば、私達が退院支援に関わる時、患者さん本人から「退院したくない」「新しい生活が不安」と言った言葉を聞いたことはなかったでしょうか？ そのようなとき、どのような関わりを私たちはしてきたでしょうか？ 被災地での支援に関わる時でも、自己決定を尊重しながら寄り添うことや、リカバリーやエンパワメントへのプロセスを共に歩むことは非常に大切なことなのです。そして、ごく当たり前の生活がこんなにもかけがえのないものであったのかとの思いを共有しながら、関わる日々が続いています。

全国各地に被災地から避難された方々が生活されていることと思いますが、それぞれの状況や生活の質の差が広がっていることが懸念されており、メンタル面の支援も長期に必要になっています。これからも私たち皆で支えながら、それが私たちの未来につながることを願っていきたく思っています。

東日本大震災復興支援委員会委員長 福井康江

♡～復興支援活動募金報告～♡ 3,115,135円(2012年5月7日～2014年10月31日現在)

皆様からお預かりした真心のこもった募金は、復興支援に携わる仲間への支援に役立ててまいります。引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

# 復興支援委員会始動

復興支援本部の活動を引き継ぐ形で、本年度より復興支援委員会が誕生しました。全国各地へ被災地の「いま」をお知らせするとともに、復興支援に関連する様々な情報発信、双方向の交流などを目指し、活動を続けてまいります。引き続き、よろしくお願いたします。

田村綾子 昨年ホッとミーティングに参加し、息の長い支援に携わりたいと実感しました。今後も心をつなぐ取り組みに尽力します。

福井康江 「支援から、支縁へ」を合言葉に、被災地の復興に向けて、寄り添う力を活かし、皆さんと共に尽くしていきたいと思ひます。これからも引き続き東北の応援をよろしくお願いたします。

小関清之 圧倒的な現実に直面しながらも紡いだ東北の仲間のことばに耳傾けて下さい。「PSWとしての私と3.11」共に語り合ひましょう。

吉野智 千葉県旭市も3年前の震災で人的被害の出た被災地です。千葉県からの声を届け、皆さまのお手伝いもできればと思ひます。よろしくお願いたします。

今泉英博 皆さんにはぜひ、4月の岩手にきていただきたいと願っています。素敵な「縁」を広げていきたいですね！

八木亜紀子 不慣れな新人委員ですが、どうぞよろしくお願いたします。福島や東北の「今」を感じに、ぜひお越しください！

小淵恵造 この度新たに復興支援委員になりました小淵と申します。微力ながら精一杯努めてまいります。よろしくお願いたします。

長谷諭 復興支縁ツアー in 宮城が来年3月21～22日に行われる予定です(募集案内・詳細は次号)。参加をお待ちしております。

菅野正彦 復興支援ツアー、第51回全国大会・第14回学術集会など、福島に東北にぜひお越し下さい！お待ちしております(#^.^#)

中山智幸 仕事ができる環境、同僚、仲間たちに本当に感謝です。「今だからこそ」出来ること、一生懸命やっけていきたいと思ひます

三瓶英美 今、これからも、ここで出来ること、考え続けていきたいです。神奈川から、ふるさとを応援しつづけます！

菅野好子 皆さまからいただいた忘れられない出会いに深謝し、陸前高田から、そして委員会と共に、想いを実現できれば幸いです。

## 委員紹介

[東日本大震災復興支援委員会]

[担当理事] 田村綾子(副会長)

[委員長] 福井康江(岩手県支部)

[助言者] 小関清之(全国理事)

[委員]

今泉英博(岩手県支部)

小淵恵造(群馬県支部)

菅野正彦(福島県支部)

菅野好子(岩手県支部)

三瓶英美(神奈川県支部)

中山智幸(宮城県支部)

長谷 諭 (宮城県支部)

八木亜紀子(福島県支部)

吉野 智 (千葉県支部)

【新マスコット「えんが〜る」とは】

被災地と全国の仲間との間に末永い縁(ゆかり)が生まれますようにとの願ひから岩手在住の構成員の手によって生まれました。

第13号 2014年11月15日発行

発行：公益社団法人 日本精神保健福祉士協会 東日本大震災復興支援委員会

〒160-0015 東京都新宿区大京町23-3 四谷オーキッドビル7F TEL.03-5366-3152 FAX.03-5366-2993

URL : <http://www.japsw.or.jp/>